

安倍9条改憲ノー 3000万署名

元日 俱利伽羅不動寺前で



2019年の元日、憲法9条を壊さないで「戦争する国」にしてはダメ!こんな思いを口々に訴えながら、憲法を守る小矢部の会と市民アクション小矢部の皆さん11名が俱利伽羅不動寺前で、安倍改憲ノー3000万署名行動に取り組みました(写真)。

雨や雪が降るなか、約1時間半の行動で56筆の署名が集まりました。県内の方々が半数でしたが、遠くは山形県や愛知県、横浜市からの里帰りの方もありました。石川県の9条の会の方も積極的に署名されました。

明るい小矢部

No.201
2019年2月号

発行
日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂田喜昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842

日本共産党発行
赤旗

日刊●日 3497円
日曜●日 930円

署名活動
一軒一軒訪ねて
1年半

これに負けられないと、小矢部平和委員会では2017年9月から1年半、市内の家々を訪ねて、安倍改憲ノーの署名を続けてき

憲法の改憲を止めよう
海外の戦争に自衛隊を

安倍首相は憲法に自衛隊を書き込み、海外で戦争できる自衛隊にしようという執念を燃やしています。

署名行動が終わった後、参加者たちは新石動駅に集まり寒かったけど、この元日行動がきつと全国の皆さんを励ますだろう。今年こそ「安倍改憲」を阻止する年にしましょう!と熱い思いを語り合いました。

ました。18年1月28日には、市内の各種団体に協力を呼びかけて市民アクション小矢部を設立しました。この間、毎週教組で、一軒一軒訪ねて署名を呼びかけ、粘り強く取り組んでいます。

安倍改憲ノーの決着は、今年夏の参院選でつけましょう。市民・公明とその補完勢力を少数にし、市民と野党の共闘勢力と日本共産党を躍進させ、審判を下そうではありませんか。

市長に予算要望

18歳までの通院医療費も無料に

日本共産党小矢部市委員会は12月26日、桜井市長に12分野77項目の2019年度予算に対する要望を提出しました(写真)。

その主な項目は、◆国保税の引き下げを、◆18歳までの通院医療費も無料に、◆小中学校は統廃合しないで、少人数制を推進し、◆水道料金の引き下げを、◆公共施設利用促進のためにも、市民への受益者負担増は止めよ、◆市の基幹産業・農業の育成を、◆公共交通の拡充を、◆おとぎの館図書館の存続を、なす。



便利な石動駅に

料で、その後1時間(こに100円)づつ増し、駐車場入場後24時間以内なら500円です。24時間を過ぎると一日500円追加となります(写真)。

5時間無料駐車場
オーブン
当面、土・日・祝日のみ

新石動駅から土日祝日にあるの風にもま鉄道を利用した人が、1月22日より駅北と駅南の駐車場を5時間無料で利用できるようになりました。

駅の改札を通ると認証機があり、駐車券を挿入すると5時間無料です。

折り返し運転
ぜひ実現を!

富山から帰るとき高岡駅止まりの電車が13本あります。市民からこのうち何本か、石動駅まで延長し折り返し運転にしてほしいとの要望が出され、日本共産党と砂田市議はその実現に努力してきました。

この実現には2.6億円の費用が必要とのことで、その財源をどう確保するかが課題の一つです。昨年からの今年にかけての日本共産党と県や国との交渉で、折り返し運転実現に国が財政支援する方法があることが確認されました。

JR切符も購入できる
珍しい駅

4年前に石動駅がJRからあの風鉄道に移管されましたが、引き続き石動駅でJR切符を購入できるようになりました。こんな例は全国でも珍しいです。

石動駅からのJR長距離電車利用者に、無料駐車場も復活されました。

新日本婦人の会
小矢部支部の皆さんが要望していた石動駅ホームにエレベーターも設置されました。

これらはいずれも日本共産党と砂田市議が市議会でも実現を求め、県交渉でも繰り返し働きかけてきたものです。

新年のNHK 日曜討論
で、安倍首相が沖繩・辺野古の海の土砂投入に関してサンゴは移植したと述べた。これがウソだった。玉城デニー沖繩県知事がすぐに現実は違うと反論した。事前収録だったのにNHKは真偽を確かめないうまま垂れ流した。マエイクニエスだ!もともとNHKの事実チヨクは厳しい。安倍官邸VS.NHK森友事件をスクープした私が辞めた理由(相澤冬樹著・文藝春秋刊)によると、このスクープは、国が学園にいくらなら出せるか問い合わせ、その価格に見合う値引きをしたことだ。相澤記者は放映する前に数ヶ月かけて複数の取材源に確認し、ようやく「ニュース」で放映できた。ところがその後、東京の報道局長からなぜ放送したのかと逆鱗に触れ、相澤氏は記者職から外されたこと。▼安倍首相がからむとNHKの忖度が始まる。まるで大本営発表のようだ。しかし、これであきらめてよいのだろうか▼辺野古米軍新基地建設の埋め立ての賛否を問う県民投票が、ようやく全県実施へ前進した。きっかけは一人の大学院生が「キャスト」を県民投票不参加の市役所前で決行したからだ。この行動が多くの県民を動かして5千人もの署名が集まった▼最近市内で、フランスのマクロン政権に反対するデモを見て、日本共産党に加わった人がいる。黙っていたら、悪政を認めたことになる、そんな生き方をしたくないと▼思ったことは行動に移そう。たった一人の行動からでも、それが希望を生み、育み、新しい日本につながる。これこそ民主主義だ。